



平成28年4月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成27年12月10日

上場取引所 東

上場会社名 神島化学工業株式会社
コード番号 4026 URL <http://www.konoshima.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 池田 和夫
問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務部長 (氏名) 小田島 晴夫

TEL 06-6110-1133

四半期報告書提出予定日 平成27年12月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年4月期第2四半期の業績(平成27年5月1日～平成27年10月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年4月期第2四半期	10,762	1.8	368	2.6	338	13.0	336	22.1
27年4月期第2四半期	10,568	13.4	359	△13.3	299	△12.0	275	27.0

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年4月期第2四半期	36.76	—
27年4月期第2四半期	30.08	—

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年4月期第2四半期	20,448		5,326			26.0
27年4月期	18,253		5,159			28.3

(参考)自己資本 28年4月期第2四半期 5,326百万円 27年4月期 5,159百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
27年4月期	—	0.00	—	8.00	8.00
28年4月期	—	0.00	—	—	—
28年4月期(予想)	—	—	—	8.00	8.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年4月期の業績予想(平成27年5月1日～平成28年4月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	22,800	10.2	960	42.8	810	44.5	520	20.1	56.80

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年4月期2Q	9,240,000 株	27年4月期	9,240,000 株
28年4月期2Q	86,857 株	27年4月期	85,688 株
28年4月期2Q	9,153,532 株	27年4月期2Q	9,157,047 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。
また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.2「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、一部に弱さも見られますが、経済政策による効果などを背景に、企業収益や雇用環境が改善し、個人消費の持ち直しの動きが続くなど、景気は緩やかな回復基調が続きました。

住宅市場においては、全体として回復基調でしたが、当社主力商品である窯業系建材は、やや厳しい環境が続いております。

このような経済・経営環境の中、売上高につきましては、107億62百万円を計上し、前年同四半期比1億94百万円(1.8%)の増収となりました。

損益面では、輸入燃料価格の下落や投資有価証券を売却したことなどによる増益要因があったことから、営業利益は3億68百万円と前年同四半期比9百万円(2.6%)、経常利益は3億38百万円と同39百万円(13.0%)、四半期純利益は3億36百万円と同60百万円(22.1%)の増益となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

①建材事業

建材事業におきましては、前述の市場環境下、新たに外装材事業(ラムダ事業)を譲受したことにより、非住宅分野の拡充などに取り組み、売上高は75億72百万円と前年同四半期並の売上を計上しましたが、ラムダ事業の一時的な費用負担などから、利益面では95百万円の損失を計上することになりました。

②化成品事業

化成品事業におきましては、海外需要が堅調に推移したことにより、売上高は31億90百万円と前年同四半期比1億95百万円(6.5%)の増収となり、セグメント利益(営業利益)も輸入燃料価格の下落などから、7億8百万円と同2億69百万円(61.5%)の大幅増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期会計期間の総資産は204億48百万円となり、前事業年度末(以下前年度)に比べ21億94百万円増加いたしました。このうち、流動資産は121億33百万円と前年度に比べ18億62百万円増加いたしました。主な増加要因は受取手形及び売掛金が11億30百万円、現金及び預金が3億31百万円、原材料及び貯蔵品が1億57百万円増加したことによるものであります。

また、固定資産は83億14百万円と前年度に比べ3億32百万円増加いたしました。主な増加要因は、有形固定資産が4億79百万円増加したことによるものであります。減少要因は、投資有価証券が1億94百万円減少したことによるものであります。

流動負債は、89億61百万円と前年度に比べ11億80百万円増加いたしました。主な増加要因は、支払手形及び買掛金が5億8百万円、短期借入金3億90百万円、流動負債のその他に含まれる未払法人税等が1億75百万円増加したことによるものであります。

固定負債は61億60百万円と前年度に比べ8億47百万円増加いたしました。主な増加要因は、長期借入金8億61百万円増加したことによるものであります。

純資産は、53億26百万円と前年度に比べ1億66百万円増加いたしました。主な増加要因は、利益剰余金が2億63百万円増加したことによるものであります。減少要因は、その他有価証券評価差額金が96百万円減少したことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年4月期の業績につきましては、平成27年6月10日の決算発表時に公表いたしました数値から、変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成27年4月30日)	当第2四半期会計期間 (平成27年10月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,237	1,569
受取手形及び売掛金	4,714	5,845
電子記録債権	270	291
商品及び製品	2,428	2,479
仕掛品	633	582
原材料及び貯蔵品	735	892
繰延税金資産	133	158
その他	120	317
貸倒引当金	△2	△3
流動資産合計	10,271	12,133
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	2,066	2,209
機械及び装置（純額）	2,596	2,609
土地	1,305	1,309
その他（純額）	691	1,010
有形固定資産合計	6,660	7,139
無形固定資産	13	24
投資その他の資産		
投資有価証券	796	601
繰延税金資産	356	391
その他	156	158
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	1,309	1,151
固定資産合計	7,982	8,314
資産合計	18,253	20,448
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,947	3,455
短期借入金	1,420	1,810
1年内返済予定の長期借入金	1,756	1,868
未払金	809	719
未払費用	224	275
賞与引当金	244	291
設備関係支払手形	152	144
その他	226	396
流動負債合計	7,780	8,961
固定負債		
長期借入金	3,494	4,355
退職給付引当金	1,317	1,329
役員退職慰労引当金	110	115
その他	390	359
固定負債合計	5,313	6,160
負債合計	13,094	15,122

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成27年4月30日)	当第2四半期会計期間 (平成27年10月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,320	1,320
資本剰余金	1,078	1,078
利益剰余金	2,592	2,855
自己株式	△29	△30
株主資本合計	4,961	5,223
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	198	102
評価・換算差額等合計	198	102
純資産合計	5,159	5,326
負債純資産合計	18,253	20,448

(2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期累計期間 (自平成26年5月1日 至平成26年10月31日)	当第2四半期累計期間 (自平成27年5月1日 至平成27年10月31日)
売上高	10,568	10,762
売上原価	7,801	7,792
売上総利益	2,766	2,969
販売費及び一般管理費	2,407	2,601
営業利益	359	368
営業外収益		
受取配当金	10	12
業務受託料	-	20
その他	15	21
営業外収益合計	25	54
営業外費用		
支払利息	64	62
売上割引	19	17
その他	1	4
営業外費用合計	85	84
経常利益	299	338
特別利益		
投資有価証券売却益	-	164
特別利益合計	-	164
特別損失		
環境対策費	-	8
固定資産売却損	9	-
固定資産除却損	10	1
特別損失合計	19	10
税引前四半期純利益	280	492
法人税、住民税及び事業税	9	181
法人税等調整額	△5	△25
法人税等合計	4	155
四半期純利益	275	336

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期累計期間 (自平成26年5月1日 至平成26年10月31日)	当第2四半期累計期間 (自平成27年5月1日 至平成27年10月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	280	492
減価償却費	493	563
固定資産除却損	10	1
固定資産売却損益(△は益)	9	-
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△0	0
退職給付引当金の増減額(△は減少)	39	12
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	8	4
投資有価証券売却損益(△は益)	-	△164
受取利息及び受取配当金	△10	△12
支払利息	64	62
売上債権の増減額(△は増加)	34	△1,159
たな卸資産の増減額(△は増加)	65	△157
仕入債務の増減額(△は減少)	△217	508
未払金の増減額(△は減少)	△6	53
未払又は未収消費税等の増減額	△37	△27
その他	△142	△57
小計	589	121
利息及び配当金の受取額	10	12
利息の支払額	△67	△63
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△169	14
その他	-	△7
営業活動によるキャッシュ・フロー	363	78
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の売却による収入	-	227
有形固定資産の取得による支出	△493	△1,218
有形固定資産の売却による収入	3	-
無形固定資産の取得による支出	△0	△14
投資活動によるキャッシュ・フロー	△490	△1,005
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	280	390
長期借入れによる収入	522	1,700
長期借入金の返済による支出	△705	△726
配当金の支払額	△73	△73
その他	△35	△32
財務活動によるキャッシュ・フロー	△12	1,257
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△139	331
現金及び現金同等物の期首残高	1,660	1,237
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,521	1,569

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当第2四半期累計期間(自 平成27年5月1日 至 平成27年10月31日)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期累計期間(自 平成27年5月1日 至 平成27年10月31日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

I 前第2四半期累計期間(自 平成26年5月1日 至 平成26年10月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期損益 計算書計上額 (注) 2
	建材事業	化成品事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	7,573	2,995	10,568	—	10,568
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	7,573	2,995	10,568	—	10,568
セグメント利益	151	438	590	△231	359

(注) 1. 調整額は、以下のとおりであります。

セグメント利益の調整額△231百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△231百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の総務部門等管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期累計期間(自 平成27年5月1日 至 平成27年10月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期損益 計算書計上額 (注) 2
	建材事業	化成品事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	7,572	3,190	10,762	—	10,762
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	7,572	3,190	10,762	—	10,762
セグメント利益又は損失(△)	△95	708	612	△244	368

(注) 1. 調整額は、以下のとおりであります。

セグメント利益又は損失の調整額△244百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△244百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の総務部門等管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。